

QSK

発行:九州障害者定期刊行物協会

住所:福岡市東区社領1丁目12番4号

一般社団法人 熊本県精神保健福祉会連合会

代表:飯塚 幸二

〒861-4106 熊本市南区南高江 7-8-77

☎096-358-4054 FAX 096-358-3337

定価 100 円(会費に含む)

編集:熊本きぼう福祉センター・熊本きぼう生活支援センター 編集人:森田 哲史 email:kibou.f.c@deluxe.ocn.ne.jp



令和 8 年度 熊本県地域精神障がい者スポレク大会

第 33 回 ふれあいピック

開催方法変更のお知らせ

今年度も標記大会をパークドーム熊本において開催する方向で準備を進めておりましたが、先般の地震による被害と様々な方面への影響を踏まえ、下記のとおり開催方法を変更することとなりましたので、お知らせいたします。

日 時:令和8年11月27日(金) ※当初の日程と変更ありません。

開催方法:**完全リモート形式**(コロナ禍でのリモート開催と同じ形態)

時間帯と内容は現時点で未定です。固まり次第、各関係機関にご案内いたします。
引き続きご協力の程、よろしくお願いいたします。

2026年 ボランティア研修会報告

先日、7/24(金)、当事業所利用者様、ボランティア、スタッフ計26名にて、荒尾長洲地域に日帰り研修へ出かけました。

熊本きぼう福祉センター→荒尾市小岱作業所→荒尾きぼうの家→道の駅ウェルネスあらお→熊本きぼう福祉センターというスケジュールでバスにて移動しました。

荒尾市小岱作業所は、新しく広い施設で、見学の際どこを歩いて行ったか分からなくなるほどでした。福島施設長に案内していただきました。食堂やレクリエーションルーム、住居スペース(部屋)等も見せていただき、「快適に過ごせそうだなあ」と感じながら見学しました。1階の大会議室でお昼のお弁当も美味しくいただき、ゆっくり休憩させていただきました。ちなみに、夏の甲子園で大活躍した有明高校がご近所だったらしいのですが、この時の関心度はまだ低く、そうなんだ～くらいの会話でした。

バスで10分ほど移動し、荒尾きぼうの家へ到着。所長の上田様よりご挨拶、ご案内していただきました。保育園跡地を施設として利用されているため、見学中に「昔懐かしい感じですね。」「いい雰囲気落ち着く。」と嬉しそうに感想を述べる方もおられました。養殖海苔用網の目を補正する作業を主にされているとのことで、実際に作業をされているところも見せていただきました。集中して手早く作業をされている姿に、とても関心しました。

最後に訪れたのが、道の駅ウェルネスあらお。今年6月にオープンしたばかりということで、広くて綺麗。物産館と研修棟の2棟大きな建物があり。圧倒されながら物産館に入りました。利用者の皆さんも広い店内に右往左往しながらも特産品やお土産を楽しそうに選ばれていました。

暑い一日でしたが、全員怪我無く無事に帰着することができ、何よりでした。思い返せば、令和8年度熊本地震の4日前という絶妙なタイミングではありましたが、楽しく有意義な時間を過ごす事ができ、本当に良かったと思います。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。



今後の行事予定(9月)

日付	行事内容
4日(金)	工賃支給
7日(月)	みんなねっと 小幡事務局長 来熊



しょうがい 障害のある方へ



し えん し
支援のお知らせ

さいがい 災害でお困りの方は
か き 下記SOS電話へご連絡ください。

しんたい 身体、ちてい 知的、けつどつ 発達、せいしん 精神、なんびよう 難病など、しょうがい 障害の種別は問いません

SOS
070-5475-1100

とう 当センターは、れいわ 令和8年、ねんくまもと しん しん う 熊本地震を受け、くまもと 熊本にある様々なしょうがいしやだんたい 障害者団体、みく しだんたい 福祉団体があつ 集まったくまもとしょうがい 熊本障害フォーラムにより設立されたものです。

これまで、ひさいち しえん つづ 被災地支援を続けてきたゆめ風基金や、かきききん 難民を助ける会など、しえん に 日本しょうがい 障害フォーラム (JDF) のバックアップを受け、う やつしろ し 八代市きよてん 基点を構えて、かき 活動をしています。

れいわ 令和8年、ねんくまもと しん しん ひ さい ち しょうがいしや
令和8年熊本地震 被災地障害者センター

くまもとけんやつしろ し みようけんまち 熊本県八代市 妙見町2377-3 (とら太の会内)

でんわ うけつけ 電話受付 070-5475-1100

げつようび 月曜日 から きんようび 金曜日 まで、ひぜん し 午前9時 ~ ひご し 午後5時

メール hisai2026sos@gmail.com
ホームページ <https://sites.google.com/view/for-people-with-disabilities>

被災地 障害者センターの支援内容

当センターでは、障害者からの SOS を受け、多くの場合、戸別訪問をして状況を確認し、その上で、支援を提供することにしています。10 年前の熊本地震では、以下のような支援を行いましたが、当センターは福祉関係者の集まりで、なんでもできるわけではありません。専門の業者に依頼して頂くこともありますが、他の専門的なボランティア団体とも連携し、可能な限り、皆様のニーズに対応できるよう努力してまいります。

- ・ 命と生活に欠かせない物資の提供
- ・ 夜間の食事介助、入浴介助
- ・ 昼間の障害児の見守り支援
- ・ 病院への移動支援や付き添い
- ・ 時間をかけた傾聴などの精神的支援
- ・ 簡易ベッドの設置
- ・ 化学物質過敏症の方が飲むことができる水の運搬
- ・ 壊れたプレハブやブロック塀の撤去や産廃場までの運搬
- ・ 家財道具の処分（産廃場までの運搬）
- ・ 水回り、台所、風呂の配管割れの応急処置
- ・ 室内片付け
- ・ 洗濯支援
- ・ 入浴支援
- ・ 避難所から避難所への移動支援
- ・ 新しい住宅への引っ越し支援
- ・ 避難所から自宅への荷物の運搬
- ・ 住居探しと斡旋
- ・ 住居に関するお役立ち情報の提供
- ・ 就労相談
- ・ 生活費に関する相談
- ・ 修理費用や生活費の相談
- ・ 日常生活用具に関する情報提供と業者の手配
- ・ 福祉サービス受給に関する相談